

消防団員アンケートの結果について

1 目的

北杜市消防団の今後の運営及び組織再編の内部検討基礎資料にするとともに、現役団員の意識や考え方を的確に捉えるため、団員向けアンケートを実施した。

2 実施手法

無料の google フォームを活用し、WEB アンケートを作成、団員がスマートフォンやパソコンから手軽に回答できるよう配慮した。

3 実施内容

現役団員の意識や組織再編への考え方を探るための「全団員アンケート」と各部の運営や寄付集めなどの状況を把握するため「部長対象アンケート」の2種類のアンケートを実施した。

4 実施期間

令和3年4月16日（金）～5月16日（日） 1ヶ月間

5 回答状況

「全団員アンケート」 851件 回答

「部長対象アンケート」 52件 回答

「全団員アンケート」は、概ね 52%の回答率、「部長対象アンケート」は、概ね 80%の回答率であり、アンケートとしては非常に信頼できるデータとなった。

6 回答分析

●「全団員アンケート」

- (1) 81.6%の団員が自身の所属している部の管轄内に居住。
- (2) 32.5%以上の団員が市外で勤務。一方、60.2%の団員は市内で勤務。
- (3) 職場で火災等を覚知した場合、23.9%の団員は原則出勤できない。
- (4) 団員候補の若者について、86.5%は「まったくいない、ほとんどいない、いるかどうかかわからない」（実際に人がいない、勧誘しても断られる等）
- (5) 団員確保が困難になっている要因は、少子化・サラリーマン化、団員候補世代の「自分たちの地域は自分たちで守る」という気概の低下、消防団に対して、団員候補世代自身の嫌悪感がある。などの要因が高い。
- (6) 部の統合等再編について、すぐに必要（27.4%）、5年以内には必要（32.5%）、10年以内には必要（25%）。⇒85%が再編が必要だと考えている。
- (7) 自由記述では、操法大会・出初式についての意見、団員報酬や出動手当の改善要望が目立った。

「アンケートから導き出す今後の対策について」

- 部の統合を中心とした組織再編は必須。(分団ごとに早急に検討進める)
- 操法大会への出場について、参加の是非を含め検討。(選手の選抜方法なども)
⇒消防技術訓練としての操法は必要。(タイムは競わない)
- 出初式の簡略化。(開催時期・内容・場所)
- 実際の災害を想定した訓練の実施。(中継送水・救助訓練など)
- 消防団サポート制度導入。(商工会と連携)
- 装備品の充実。
- 団員報酬・出動報酬(手当ではなくなる)の増額(条例改正必要)
⇒市財政全体への影響は？

⇒ 同時に「現職団員への継続意向確認」を実施。

上記の対策について、団員に寄り添った方向性を示した上で、退団を希望する団員を把握する。

併せて、やる気のある消防団OBの積極的な登用。

●「部長対象アンケート」について

- (1) 地域の芝焼きに78.8%が協力している。
- (2) 芝焼き出労に対して60%が謝礼や費用弁償をもらっている。
- (3) 63.5%が行政区や班から活動補助金をもらっている。
- (4) 59.6%が管轄内の世帯に寄付金をお願いしている。

「アンケートから導き出す今後の対策について」

- 寄付金のトラブルが発生しないよう徹底。
- なるべく寄付に頼らないよう行政区からの補助等で対応できないか検討。
- 芝焼きについては、消防活動として、公務災害の対象になる旨周知。
(ただし、出動報酬の支給は要検討課題。)